

二之宮配水池東減圧弁更新工事

特記仕様書

令和 8 年度

笛吹市公営企業部水道課

目 次

第1章 総 則	1
第1節 一般事項	1
第2章 機械設備一般仕様	3
第1節 一般事項	3
第2節 工事一般仕様	4
第3章 機械設備工事	5
第1節 機械設備	5

第1章 総 則

第1節 一般事項

1.1.1 適用範囲

この特記仕様書は、(公社)日本水道協会水道工事標準仕様書1-1-1-3-6で定める特記仕様書で、標準仕様書を補足し工事の施工に関する明細又は特別な事項を定めたものであり笛吹市の発注する二之宮配水池東減圧弁更新工事に適用する。なお、本仕様書に定めていない事項については監督員との打合せにより決定するものとする。

1.1.2 工事名

二之宮配水池東減圧弁更新工事

1.1.3 工事場所

笛吹市御坂町二之宮地内

1.1.4 工期

契約日翌日 ～令和9年1月21日

1.1.5 工事内容

道路地下ピットに設置してある減圧弁、ストレーナーを撤去、既存機器と同等品以上の機器を設置する。

なお、工事により水道水が濁る場合があるため、夜間(22時～5時)での施工を行うこと。

撤去した機器等は、有価物として処分先へ搬出すること。

(鉄くず 約0.3t)

既存機器:減圧弁、 $\phi 150 \times 7.5\text{kf}$

ストレーナー $\phi 150 \times 7.5\text{kf}$ SU-C型

1.1.6 施工計画書・変更施工計画書の提出

受注者は工事着手前に、施工計画書を監督員に提出し承諾を受けなければならない。なお、小規模工事においては監督員の承諾の下その一部を省略することができる。

1.1.7 法令、条例等の適用、諸官庁への手続き

本工事に関係ある法令、条例等はよくこれを遵守し、関係諸官庁等に対する必要な届出、手続き等は請負者がこれを代行するものとする。

1.1.8 準拠規格

本工事に使用する機器材料は、下記の現行標準規格等に準拠するものとする。ただし、特に指定ある場合はこの限りではない。

(1)水道施設設計指針(JWWA-日本水道協会編)

(2)日本産業規格 (JIS)

(3)日本電気規格調査会標準規格(JEC)

(4)日本電機工業会標準資料 (JEM)

(5)日本電線技術委員会標準資料(JCS)

(6)電気設備技術基準(経済産業省)

(7)内線規程(日本電気技術規格委員会)

(8)電気設備工事共通仕様書(国土交通省営繕局監修、営繕協会編)

1.1.9 機器、材料の検査

- (1)本工事で使用する機器、材料等で本市が検査を要求するものは、請負者はこれに応じること。
- (2)主要機器のうち本市が指定するものは、受入検査等を行なうこと。

1.1.10 安全衛生管理

- (1)本工事の施工にあたっては、労働安全衛生に関する法令を遵守し、就業者に対して常に徹底させ災害防止に万全の策を講じること。
- (2)本場所は水道設備であるので環境衛生には充分注意すること。

1.1.11 試験調整

- (1)現場据付工事完了後、監督員立会のもと、各機器設備の試運転調整試験を行い、設備全般の機能が完全に発揮できるように調整すること。
- (2)試運転調整試験については、メーカー派遣技術者により行うこと。

1.1.12 竣工検査および受渡し

- (1)本工事の完成にあたっては、関係官公署等の検査後に本市の竣工検査を受けるものとする。なお、竣工検査の際には機器・現場試験の試験成績書を提出すること。
- (2)竣工検査において指摘事項があった場合は、速やかに改善し、再度検査を受けるものとする。
- (3)本工事の受渡し期日は、立会試験および竣工検査に合格した後とする。

1.1.13 材料保管

本工事竣工までの機器、材料の保管責任は請負者にあるものとする。

1.1.14 保証期間

本工事の保証期間は、受渡し完了後2ヶ年とする。保証期間中に、請負者の責任に帰すべき原因による故障が発生した場合、請負者は本市の指定する期間内に取替または修理すること。

1.1.15 完成図書

工事完了後下記の図書を整備し、製本のうえ提出すること。

- (1)施設設備完成図書
- (2)主要機器取扱説明書
- (3)工事写真
- (4)各種機器試験成績表
- (5)官公署ほか提出書類控
- (6)その他監督員の指示するもの

第2章 機械設備一般仕様

第1節 一般事項

2.1.1 規 則

本工事に使用する機器はJIS・JEM・JEC各規格に準拠するもので、本章の仕様によること。
なお、製作者及び調達品については以下の条件を付す。

1. 工事目的物の故障や不具合に対して、保守等に関する契約を締結するか否かに関わらず
夜間及び休日でも修理等の対応、連絡体制が整備されている者であること。

2. 調達する機器等については、緊急かつ短時間のうちに修理に取り掛かれるようそのメーカーの保守その他アフターサービス体制が山梨県下に整備されているものを優先的に選定すること。

2.1.2 単 位

単位はSI単位によること。

2.1.3 付属品

各機器の付属品は、本仕様書に記載されているものの他、請負者において運転上必要と認めるものはすべて付属すること。

2.1.4 塗装色

塗装色は、原則としてメーカー標準色とする。

2.1.5 周波数

本地区は50Hz地区につき、定格周波数は50Hzとする。

2.1.6 荷造りおよび輸送

荷造りは厳重に施し、防湿処理を完全に行い、天地無用の品にはその旨を明記し、適当な転倒防止の方法を講じること。また、予備品は長期の保存に適すよう必要部分に錆止めを施し、ビニルにて包装または荷造りをして外部には内容・品名・数量を明記し、必要な場合には転倒防止の方法を講じ、保管上の注意事項を付記すること。

2.1.7 製作連絡

他工事と関連のある場合は、他工事の関係者と密接に連絡を保ち、全体として調和のとれたものとする。

第2節 工事一般仕様

2.2.1 機械据付工事

- (1)機器据付位置、据付方法は既設通りとする。
- (2)各機器の詳細な据付位置の決定にあたっては監督員と協議し、監督員の承認を得てから据付けること。
- (3)弁類の据付にあたっては、前後の配管と側管の取付等に注意し、水平または垂直に据付けること。

2.2.2. 配管工事

- (1)管の製作加工規格は、日本工業規格(JIS)、日本水道規格協会(JWWA)によること。
- (2)工事に先立ち管体検査を行い、亀裂その他の欠陥の無いことを確認すること。また、内部は十分清掃を行うこと。
- (3)管の据付にあたっては、水平器等を使用し中心および高低を確認し、据付けること。
- (4)管を溶接する場合、溶接部は滑らかに仕上げること。
- (5)配管は、適宜サポートを取付け施工すること。

2.2.3 工事中の交通及び保安設備

工事区域内への一般車両の進入を防止するため危険防止柵を設置し、必要に応じ保安用の夜間照明設備を設置する等、十分な危険防止対策を施すこと。

また、工事区域内での車両の運行、及び歩行者の通行に際しては、必要に応じて専任の交通誘導警備員を設置し、通行の誘導、路面の補修に努める等、交通及び保安上十分な措置を講じること。

(1)工事の施工にあたっては、「道路工事交通保安施設設置基準」(R6年2月改訂)に基づき適切な交通管理を行うものとする。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議するものとする。

(2)本工事の施工に際しては、道路工事交通保安施設設置基準A型標準図により交通誘導警備員及び保安施設を設置するものとする。また、交通整理は次の通り実施するものとする。

また、特記仕様書によりがたい場合は、監督員と工事協議書により別途協議することとする。

交通誘導の時間帯 22:00～翌5:00 実労7時間(交替要員なし)を基本とする。

交通整理期間 施工期間で1日間とし常時2名/日(一般交通影響なし(補正なし))を想定している。なお、施工条件に変更が生じた場合は監督員と協議するものとする。

「土木工事安全施工技術指針」ほか関係法令等を遵守のうえ施工すること。

第3章 機械設備工事

第1節 機械設備

3.1.1 概 要

本工事は既設の減圧弁が老朽化したので更新するものである。
また、監督員と協議を行い給水に支障をきたさない事。

3.1.2 設備機器

- (1) 減圧弁 $\phi 150 \times 7.5\text{kf}$ 1台
- (2) ストレーナー $\phi 150 \times 7.5\text{kf}$ 1台

3.1.2 工事範囲

本工事に含まれる工事範囲は下記の通りとする。

- (1) 減圧弁・ストレーナーの製作
- (2) 既設機器搬出
- (3) 減圧弁・ストレーナーの据付・配管・電気工事
- (4) その他上記に伴う諸工事